

厚生年金・国民年金の積立金運用について

<運用の基本的考え方>

- ◇ 年金積立金は、将来の年金給付の貴重な財源であり、専ら被保険者の利益のために運用することとされている。
- ◇ 厚生年金保険法及び国民年金法等に基づき、長期的な観点から、安全かつ効率的に運用
 - ・ 年金積立金全体 約132兆円(平成25年度末)
 - ※ GPIFが管理・運用する直近の資産額は約127兆円
 - ・ 専門性の徹底及び責任の明確化を図り、運用に特化した独立行政法人において運用

<基本ポートフォリオ>

※ 平成26年10月31日変更

国内債券	国内株式	外国債券	外国株式
35% (±10%)	25% (±9%)	15% (±4%)	25% (±8%)

()は乖離許容幅

※ 直近の資産構成割合(平成26年度第1四半期末)
 国内債券51.91% 国内株式16.79% 外国債券10.76%
 外国株式15.54% 短期資産5.00%

<年金積立金全体の運用実績>

13年度(自主運用開始)～25年度の累積収益額：約47兆円
 平均収益率： 2.71%

※ 名目賃金上昇率を約3.16%上回り、財政検証上の前提を上回っている。

<運用の仕組み>

